

2011年7月15日

報道関係各社 御中

一般社団法人日本機械学会

日本機械学会および機械系諸団体、8月7日の「機械の日」にあわせて 全国各地でイベントを開催

「機械の日・機械週間」について

日本機械学会は、「機械」の意義や役割を広く社会とともに考え、人間と機械との間のふさわしい関係を模索するため、産官学の関係各方面と協力し、2006年に中暦（月遅れ）の七夕にあたる8月7日を「機械の日」、8月1日～7日を「機械週間」（メカウィーク）として制定し、本年も機械系諸団体とともに北海道から沖縄までの全国各地で100以上のイベントを開催します。

このような機会を通じて、若年層の理工系離れ・技術離れの回避、女性を含めた次世代のイノベティブな技術者育成の支援、さらに国際的な技術学術交流の促進を図りたいと考えています。
(<http://kikainohi.jsme.or.jp/>) <別添パンフレット参照>

8月7日は「機械の日」。

「機械の日・機械週間」記念行事

- 特別フォーラム，機械遺産認定表彰，記念講演，絵画コンテスト表彰 -

今年度は、8月7日「機械の日」の前日より2日間かけて、本会関西支部との連携により特別フォーラム、機械遺産認定表彰、記念講演、絵画コンテスト表彰を実施します。

特別フォーラムでは「この危機を契機として、機械に支えられた現代文明のこれからを考える」と題し、哲学や文化人類学の分野で日本をリードしておられる鷲田清一氏（大阪大学総長）、上田紀行氏（東京工業大学准教授）のお二人をお迎えし、今後人類が機械（技術）とどのように関わっていくか等、皆様とともに考えてみたいと思います。

開催日 2011年8月6日（土）～8月7日（日）

会場 大阪科学技術センター8階 大・中・小ホール（大阪市西区靱本町1-8-4）

参加費 無料

8月6日（土）

〔特別フォーラム〕12.40～17.05

「この危機を契機として、機械に支えられた現代文明のこれからを考える」

鷲田清一（大阪大学 総長）、上田紀行（東京工業大学 准教授）

松久 寛（京都大学 教授）、小澤 守（関西大学 教授）

金子成彦（東京大学 教授 / 日本機械学会 筆頭副会長）

〔機械遺産認定表彰〕17.20～18.00

認定される機械遺産は別紙資料をご参照ください。

8月7日（日）

〔記念講演会〕10.00～15.00

(1) 「レオナルド・ダ・ヴィンチの世界」 神谷和秀（富山県立大学 准教授）

(2) 「超電導磁気浮上式鉄道の実用化に向けて」 白國紀行（JR東海 常務執行役員）

(3) 「人の生活の中に入ってくるロボット」 石黒 浩（大阪大学 教授）

〔絵画コンテスト表彰〕12.00～13.20

「未来の機械」や「夢の機械」など、本会ジュニア会友をはじめとした応募作品から優秀賞を表彰します。

国立科学博物館にて開催される長期イベントのご紹介

「機械の日・機械週間」に合わせて、国立科学博物館にて長期的に開催されるイベントも企画しております。(別添パンフレット参照)

・展示会「日本の先端科学技術の紹介」

- 日本機械学会賞(技術), 優秀製品賞, 機械遺産の紹介 -
かがくの未来の夢 七夕たんざくコンテスト

・7月26日(火)開会式後、三菱総合研究所理事長 小宮山 宏氏(前東京大学総長)による特別講演を開催

「日本の先端科学技術の紹介」と題し、2010年度本会学会賞(技術)受賞技術7件、優秀製品賞受賞製品5件を紹介いたします。また、昨年までに認定された機械遺産43件のパネル展示や、来場された子ども達を対象に「七夕たんざくコンテスト」を実施予定です。

また、7月26日(火)17:30より小学校5年生以上の本会ジュニア会友および会員対象で、特別講演『日本「再創造」- プラチナ社会の実現に向けて -』と題して三菱総合研究所理事長 小宮山 宏氏(前東京大学総長)より、地球温暖化やエコロジー、高齢化社会など、日本がかかえている問題や解決への取り組みを分かりやすく説明して頂く予定です。

開催日 2011年7月26日(火)~8月8日(月)

会場 国立科学博物館 地球館2階フロア「科学と技術の歩み」展示コーナー
(東京都台東区上野公園7-20)

博物館入館料 一般・大学生600円, 高校生以下無料

・2011夏休みサイエンススクエア「おもしろメカニカルワールド」

(国立科学博物館 主催/日本機械学会関東支部 協力)

国立科学博物館の夏休み行事の一環として、小中高校生を対象とした2011夏休みサイエンススクエアが開催されます。本会関東支部では各大学の協力のもと「おもしろメカニカルワールド」のコーナーを設けて参加しています。各研究室で作成した模型を使った実験を行うことで、機械工学の原理を平易にやさしくわかりやすく示し、子供たちに慣れ親しんでもらう参加形式を心がけております。今年で13回目になりますが大変好評で、理工系好きの青少年を育成するための一助になればと考えております。

開催日 2011年7月29日(金)~8月11日(木)(8月1日(月), 8日(月)は休室です)

会場 国立科学博物館 日本館1階企画展示室

博物館入館料 一般・大学生600円, 高校生以下無料

7月29日(金)~31日(日)

「プランコはなぜゆれるの」(東京工業大学:木村研究室)

8月2日(火)~4日(木)

「自分で作れる! ちょっと不思議なやじろべい」(埼玉大学:佐藤研究室)

8月5日(金)~7日(日)

「あれ、水タンクで建物の揺れが止まるよ」(東京大学:金子研究室)

8月9日(火)~11日(木)

「地球に優しいクリーンエネルギー」(早稲田大学:勝田研究室)

「機械の日・機械週間」に関するホームページ

<http://kikainohi.jsme.or.jp/>

<ニュースリリースに関するお問い合わせ先>

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
一般社団法人日本機械学会
学会運営部門 会員・情報管理グループ 井上 理
電話(03)5360-3503/FAX(03)5360-3508
E-mail:inoue@jsme.or.jp



機械の日 (8/7)・機械週間 (8/1-8/7) 記念行事

展示会「日本の先端科学技術の紹介」

—日本機械学会賞 (技術), 優秀製品賞, 機械遺産の紹介—

(企画 日本機械学会 2011 年度「機械の日」実行委員会)

共催 国立科学博物館
後援 (予定) 文部科学省, 経済産業省

開催日 2011年7月26日(火)～8月8日(月)

会場 国立科学博物館 地球館 2階フロア「科学と技術の歩み」展示コーナー

(東京都台東区上野公園 7-20 電話 月～金曜日:(03)3822-0111, 土・日曜日, 祝祭日:(03)3822-0114)

JR「上野」駅公園口から徒歩5分, 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅から徒歩10分, 京成線

「京成上野」駅から徒歩10分 (<http://www.kahaku.go.jp/userguide/access/index.html>)

趣旨 国立科学博物館地球館2階フロア「科学と技術の歩み」展示コーナーにおいて, 2005年より毎年開催し, 今回7回目となります。「日本の先端科学技術の紹介」と題する展示会を行います。出展内容は, 日本機械学会賞(技術)ならびに日本機械学会優秀製品賞を受賞された企業より, 同賞に関連する最新の技術을展示していただく予定です。「科学と技術の歩み」展示コーナーは, 江戸時代以降のわが国の科学技術が日本固有の文化に根ざしつつ, 外国の文化を受け入れながら発展してきた歩みを展示しております。本会の受賞技術の展示は, こうした歩みの最新・最先端に位置づけられており, 「機械工学のPR」としても大きな役割を果たすものと考えております。また, 機械遺産のパネル展示や, 来場された子ども達を対象に「たなばたたんざくコンテスト」も昨年同様, 実施する予定です。なにとぞ, ご家族お誘い合わせの上, ご来場下さい。

開館時間 9.00～17.00, 金曜日は20.00まで(入館は閉館の30分前まで)

休館日 上記展示期間を含む夏休み期間中は休館日なし

入館料 常設展示入館料金: 一般・大学生 600円, 高校生以下: 無料

なお, 一般者の内65歳以上の方は無料です(年齢の分かる証明証等を提示して下さい)。詳細は国立科学博物館HP (<http://www.kahaku.go.jp/>) をご覧下さい。

出展社名/受賞技術・製品内容

2010年度日本機械学会賞(技術)受賞 技術一覧

- * 日立ツール(株) / 「微細超深穴加工用ドリルの開発」
- * (株)小松製作所 / 「建設機械用ハイブリッドシステムの開発」
- * (株)東芝, 東芝ホームアプライアンス(株), 東京大学 / 「心地よい音を実現するデザイン技術開発と製品適用」
- * 東京地下鉄(株), (独)交通安全環境研究所, 住友金属工業(株), 住友金属テクノロジー(株) / 「営業車両において常時脱線係数を測定できる台車とそれを用いた脱線係数監視システムの開発」
- * オークマ(株) / 「びびり振動検知/自動回避機能を有する智能化加工システムの開発」
- * ジャトコ(株), 日産自動車(株) / 「低燃費を実現した変速比幅の大きい超小型副変速機付 CVT の開発」
- * 富士フイルム(株), 富士フイルムオプトマテリアルズ(株), 東海大学 / 「ロール・ツー・ロール搬送方式を用いた超広幅液晶用光学フィルムの製造プロセス」

2010年度日本機械学会優秀製品賞受賞 製品一覧

- * (株)IHI シバウラ / 「オゾンリネン消毒庫 OR シリーズ (OR-5V, OR-12)」
- * (株)アンベエスエムティ / 「超高速応答 極細・極薄熱電対」
- * 高松機械工業(株) / 「実用型 CNC スリム旋盤シリーズの開発」
- * 安田工業(株) / 「立形マシニングセンタ YMC 430」
- * 油研工業(株) / 「高速リニアサーボ弁」



かがくぎじゆつの未来の夢 たなばたたんざく コンテスト



かがくぎじゆつの未来の夢をたなばたの「たんざく」に書いてください。国立科学博物館にあなただの「たんざく」をかざりましょう。

七夕は「棚機(たなはた)」ともかれ、七夕祭りのおりひめさまがはたおりをする機械も意味しています。日本機械学会では機械と関係のある七夕(たなばた)の8月7日(旧暦)を「機械の日」、8月1日～7日までを「機械週間」と制定しました。機械の日と機械週間にあたる夏休みの2011年7月26日(火)～8月8日(月)に東京上野の国立科学博物館では「日本の先端科学技術の紹介」展示会が開催され、その会場においてお子さんたちの科学技術の未来の夢を短冊にし、飾りつけします。ジュニア会友のみなさんも「かがくぎじゆつの未来の夢 たなばたたんざくコンテスト」に是非ご応募いただき、当日是非ご来場ください。なお、優秀な作品(数点)には「おりひめ賞」「ひこぼし賞」などを差し上げ、表彰(後日)いたします。

募集期間:7月上旬～8月8日(月) 会場にても受付いたします。

対象:幼稚園、小学生から中学3年生まで

表彰:応募頂いた短冊の中から、数点を「おりひめ賞」「ひこぼし賞」として表彰致します。

受賞者へは別途ご連絡し、表彰状と副賞(天体望遠鏡など)が授与されます。

- * 展示会詳細は 学会 HP の <http://www.jsme.or.jp/kahakutenjikai/kahaku2011.htm> にてご確認ください。
- * 国立科学博物館入館料 常設展示入館料金:高校生以下:無料 (一般・大学生 600円)
- * 所在地 東京都台東区上野公園 7-20 (上野公園内)
- * 応募多数の場合、開催期間中の短冊の掲示が貼りがえられる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- * ジュニア会友以外の方もどうぞご応募ください。

たなばたたんざくコンテスト申し込みフォーム FAX 03-5360-3508

ファックスにて送信いただくか、メールの場合は下記事項を tanaka@jsme.or.jp 宛にご応募ください

科学技術への夢(20文字以内)

氏名	ジュニア会友番号	(ジュニア会友のみ)
住所		
電話番号	FAX番号	
メールアドレス		

個人情報について:ご応募頂きました個人情報は、受賞連絡についてのみ利用いたします。

お問い合わせ:日本機械学会 総務グループ 田中、大黒宛 電話 03-5360-3500

展示会「日本の先端科学技術の紹介」
—日本機械学会賞(技術), 優秀製品賞, 認定機械遺産の紹介—
特別講演のお知らせ

参加登録対象者: 小学校5年生以上の日本機械学会ジュニア会友、及び機械学会学生員、正員

「日本「再創造」—プラチナ社会の実現に向けて—」

講師 株式会社三菱総合研究所 理事長 小宮山 宏 氏
(前 東京大学 総長)

講演概要

「資源の枯渇問題などで限界が見えてきた地球、高齢化社会、爆発的に増えた為全体が見えにくくなった知識」と向い合いこれらの問題を解決することが、この21世紀の重要な課題となっています。これらの課題に対して、これからの日本で何ができるかを考えてみましょう。

日本のエネルギー消費量は、家庭、会社、輸送の「日々の暮らし」が55%、素材、自動車、家電などの「ものづくり」が45%を占めており、日々の暮らしのエネルギー消費量はまだまだ努力で減らすことができます。

これからは、ものづくりではなく、日々の暮らしで二酸化炭素(CO₂)を減らして行き、温暖化をくい止めることが重要となります。

また、日本は、温暖化だけではなく高齢化などの社会構造的な課題を抱えており、私は、これらの問題を同時に解決する為のまちづくり運動「プラチナ構想ネットワーク」を提案しています。プラチナには、エコ(グリーン)、健康(シルバー)、IT(ゴールド)など、さまざまな輝きをもった一ランク上の暮らしという意味がこめてられています。

今こそ、温暖化の解決や新産業の創出を通じて世界の先頭に立ち、『課題解決先進国』として日本を真の先進国としていきましょう。

対象者: 小学校5年生以上の日本機械学会ジュニア会友、及び機械学会学生員、正員

定員 40名(事前登録による抽選方式)

開催日 2011年7月26日(火) 17時30分～

会場 国立科学博物館 上野本館 (東京都台東区上野公園7-20、会場詳細案内は抽選後当選者にご案内します)

お申し込み方法 本特別講演は小学校5年生以上の日本機械学会ジュニア会友、及び機械学会学生員、正員を対象とし、事前申し込みによる抽選で40名様に聴講いただけます。聴講ご希望の方は、7月13日(水)までに下記URLからお申し込み下さい。

また、ジュニア会友の方で保護者同伴が必要な場合は、ジュニア会友1名につき1名受け付けますので、事前登録申し込みのフォームに従いその旨ご記入下さい。

【事前登録のご注意】

同じ会員番号での複数のお申し込みは、受け付けません。

【抽選結果について】

締め切り後実行委員会にて抽選の上、当選者された方にのみ、7月15日(金)に詳細なご案内をメールにてご連絡を差し上げます。

参加費:無料

事前登録URL: <http://www.jsme.or.jp/conference/kahaku2011/sanka/jizen.html>

問合せ先 日本機械学会 展示会「日本の先端科学技術の紹介」係

担当:田中

メールアドレス: kahaku2011[at]jsme.or.jp 宛 ([at]を@に置き換えて)

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階

アクセス・利用案内 国立科学博物館アクセス・利用案内

(<http://www.kahaku.go.jp/userguide/access/index.html>)

個人情報について:ご登録頂きました個人情報は、本特別講演会に関する連絡についてのみ利用いたします。

No.11-15「機械の日・機械週間」記念行事
—機械遺産認定表彰，記念講演，絵画コンテスト表彰—

<http://www.jsme.or.jp/kikainohi/>

(企画 日本機械学会 2011 年度「機械の日」実行委員会)

後援 (予定) 文部科学省，経済産業省，国土交通省，日本学術会議，科学技術館，国立科学博物館，産業技術総合研究所，電気事業連合会，朝日新聞社，毎日新聞社，日本経済新聞社，日刊工業新聞社，日本科学未来館，日本機械工業連合会，日本工作機械工業会，日本商工会議所

協賛 (予定) エネルギー・資源学会，化学工学会，可視化情報学会，火力原子力発電技術協会，空気調和・衛生工学会，軽金属学会，計測自動制御学会，自動車技術会，精密工学会，ターボ機械協会，日本エネルギー学会，日本音響学会，日本ガスタービン学会，日本技術士会，日本技術史教育学会，日本金属学会，日本計算工学会，日本原子力学会，日本工学アカデミー，日本工学会，日本航空宇宙学会，日本混相流学会，日本材料学会，日本産業技術教育学会，日本船舶海洋工学会，日本塑性加工学会，日本鑄造工学会，日本伝熱学会，日本トライボロジー学会，日本熱物性学会，日本燃焼学会，日本マリンエンジニアリング学会，日本流体力学会，日本冷凍空調学会，日本ロボット学会，発明協会，溶接学会

開催日 2011 年 8 月 6 日 (土) 17.10～8 月 7 日 (日) 15.00

会場 大阪科学技術センター 8 階 大・中・小ホール (大阪市西区靱本町 1-8-4) <http://www.ostec.or.jp/index.html>

趣旨 「機械の日・機械週間」は，若年層の理工系離れ，技術離れを回避し，女性を含めた次世代の技術者の育成を支援し，さらに国際的な技術学術交流の促進を図るため，機械技術がどのようにして社会や産業の健全な発展に役立っているかを広く社会と共に思考すると共に，機械技術者の果たす役割を浮き彫りにして社会の一層の理解を得る国民的な記念日として制定されました。本記念日及び記念週間は，技巧上達を祈念する中国の祭りである「乞巧奠 (きっこうでん)」（乞は願い，巧はたくみ・技術，奠は祭り）に於いて，神に捧げる御衣を「棚機 (たなばた)」という織機で織り上げたことから生じたとされる「七夕」の中層にあたる 8 月 7 日を「機械の日」，8 月 1～7 日を「機械週間」(メカウィーク)とされました。本会では，2007 年度より「機械の日」を記念した行事を開催し，今年度は，8 月 6～7 日に大阪科学技術センターに於きまして，関西支部との連携により下記の記念行事を開催し，併せて「機械の日」を含む前後に，関係諸団体，支部・部門による様々な記念行事を全国各地で開催する予定です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。なお，各支部等で開催される機械の日，機械週間の関連行事に関しては，ホームページ (<http://www.jsme.or.jp/kikainohi/>) をご参照下さい。

8 月 6 日 (土)

●日本機械学会関西支部主催特別フォーラム

「この危機を契機として，機械に支えられた現代文明のこれからを考える」[12:40～17:05]

講師：鷲田清一 (大阪大学)

講師：上田紀行 (東京工業大学)

講師：松久 寛 (京都大学)

講師：小澤 守 (関西大学)

講師：金子成彦 (東京大学)

●「機械の日」開会式 [17.10] (司会「機械の日」実行委員会幹事 吉田英生)

開会挨拶 「機械の日」実行委員会委員長 久保司郎

会長挨拶 日本機械学会会長 佐藤順一

●日本機械学会機械遺産認定表彰 [17.20～18.00]

(1) 選定経緯報告 機械遺産委員会委員長 池森 寛

(2) 認定証授与式 (贈呈者 日本機械学会会長 佐藤順一)

(3) 代表者挨拶

*機械遺産のパネル展示

●前夜交流会 [18.10～20.00] (司会 「機械の日」実行委員会委員 山口貴弘)

挨拶 (1. 佐藤順一 (日本機械学会会長)，2. 鷲田清一 (大阪大学総長)，3. 乾杯挨拶：古藤悟 (関西支部支部長)，4. 歓談，5. 閉会：矢部彰 (2012 年度「機械の日」実行委員会委員長)

会場：同センター中ホール 会費：5,000 円 (当日会場受付で申し受けます)

8 月 7 日 (日)

●記念講演会 [10.00～15.00]

(1) 神谷和秀 (富山県立大学) 10:00～10:55

「レオナルド・ダ・ヴィンチの世界」

(2) 白國紀行 (JR 東海) 11:00～11:55

「超電導磁気浮上式鉄道の実用化に向けて」

(3) 石黒 浩 (大阪大学) 13:45～14:40

「人の生活の中に入ってくるロボット」

絵画コンテスト表彰・ランチオン [7 日 12.00～13.20] (贈呈者 日本機械学会会長 佐藤順一)

閉会挨拶 日本機械学会筆頭副会長 金子成彦

参加費 「前夜交流会」をのぞいて会員・会員外にかかわらず無料 (7 日ランチオンでは軽食を準備いたします)。

申込方法 電子メールないしは FAX にて，記念講演会，機械遺産認定表彰，前夜交流会のそれぞれについて，「記念講演会申込み」，「機械遺産認定表彰申込み」，「前夜交流会申込み」，あるいは「記念講演会・機械遺産認定表彰・前夜交流会申込み」などと表記の上，(1)氏名，(2)所属，(3)連絡先，(4)電話，(5)FAX，(6)会員の場合は会員資格と会員番号，を記入して下記担当宛お申し込み下さい。(記念講演会と機械遺産認定表彰は会場の都合で先着 280 名とさせていただきます。)

申込先 社団法人 日本機械学会「機械の日記念講演会」係 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館 5 階 電話(03) 5360-3505，FAX (03) 5360-3509，電子メール kikainohi@jsme.or.jp

「機械の日・機械週間」記念行事

2011年特別フォーラム

この危機を契機として、機械に支えられた現代文明のこれからを考える

開催日 2011年8月6日(土) 12.40~17.05

会場 大阪科学技術センター 大ホール(大阪市西区鞠本町1-8-4)

主催 一般社団法人日本機械学会 関西支部

趣旨

2011年3月11日の東日本大震災は、わが国の歴史において永遠に語り継がれるべき悲惨な巨大災害となりました。それはまず、われわれが畏敬すると同時に畏怖すべき地球の姿を思い知らしめ、昨今の「地球にやさしい」といった表現に潜む不遜さや奢りを猛省させる出来事でありました。そして巨大地震と巨大津波は、直接的に、多くの人々を容赦なく痛めつけただけでなく、間接的にも、人類がその英知を結集して産み出したとも考えられていた科学技術の粋——原子力発電を今や産みの親に歯向かって暴れまわる怪物と変えてしまい、深刻きわまりない驚異をわが国だけでなく世界にも与えています。

この原子力発電に象徴されるように、現代文明は大量の資源とエネルギーの利用に立脚しており、そのエネルギーを生み出すとともにエネルギーを活用して人類の活動を豊かにすべき主役が機械であります。復興への課題は申すまでもありませんが、さらに、種々の限界があることが自明な地球において、今後人類が機械(技術)とどのように関わっていくか、そして機械工学はその要請にどのように応えていくかは、短期的にも長期的にも極めて重要な課題であります。本フォーラムでは、日本機械学会を代表するメンバーに加え、哲学や文化人類学の分野で日本をリードしておられるお二人をお迎えし、一般の皆様とともに、これらの問題を深く考えてみたいと思います。

プログラム

コーディネーター 吉田英生 京都大学大学院工学研究科教授

(日本機械学会 関西支部 企画幹事長)

12.40~12.45 開催挨拶 古藤 悟 三菱電機(株)機械技術部会長

(日本機械学会 関西支部 支部長)

12.45~13.20 鷺田清一 大阪大学総長

13.20~13.55 上田紀行 東京工業大学大学院社会理工学研究科准教授

(休憩20分)

14.15~14.50 松久 寛 京都大学大学院工学研究科教授

(元日本機械学会 副会長・元日本機械学会 関西支部 支部長)

14.50~15.25 小澤 守 関西大学大学院社会安全研究科副研究科長

(元日本機械学会 関西支部 常務幹事)

15.25~16.00 金子成彦 東京大学大学院工学系研究科教授

(日本機械学会 筆頭副会長)

(休憩 20分)

16.20~17.00 総合討論

17.05~17.05 閉会挨拶 平尾雅彦 大阪大学大学院基礎工学研究科教授

(日本機械学会 関西支部 副支部長)

定員 280名

参加費 無料

申込締切 2011年7月29日(金)

申込方法 ①氏名, ②所属, ③通信先をご記入の上 E-mail, Fax または郵送にて関西支部宛お申し込み下さい。

なお, 特に参加券等はお送りしませんので直接会場受付にお越し下さい。

申込先 一般社団法人日本機械学会 関西支部

〒550-0004 大阪市西区鞠本町 1-8-4 大阪科学技術センタービル内

電話 (06) 6443-2073 FAX (06) 6443-6049 E-mail: info@kansai.jsme.or.jp

※申込みに際しお届けいただいた個人情報, は, 当支部からのご連絡にのみ使用させていただきます。